



「子どもたちの溢れるエネルギーが相応しいかたちで放出するための自由をわたしたちは守らなければいけない」

2022年も残すところわずかとなりました。もしかしたら、これを読んでいる時は2023年かもしれませんね。みなさんにとって2022年はどんな1年でしたか？さて、今回はお月見会や9月から11月に行われた文化事業について紹介いたします。2023年も、みなさんにとって幸せな一年でありますように。

第49回豊橋市民お月見会を開催しました。

第49回豊橋市民お月見会を開催し、今年も多くのご応募をいただきました。川柳128句、俳句102句、短歌74首の中から「特選」「秀逸」「佳作」がそれぞれ選ばれました。

特選作品ご紹介

【川柳の部】

老介護今夜も月が覗いてる

中村鈴子

(中村さんコメント)

家の窓からは何時も月が見えます。実家からよく父が遊びに来ていて、晩酌をしながらよく月を見ていました。その父が亡くなり、窓から見える月は父が笑って私を覗いている様でした。そして病気の兄を甲斐甲斐しく世話をする義姉を毎夜月をひょこり覗いているのです。「今夜もがんばっているな」まるで義姉を案じて励ましている様に私には思えました。何気なくポツと出来た句。選んでいただき、ありがとうございます。

<川柳を始められたきっかけ>

「社長より内部よく知るアルバイト」

このサラリーマン川柳の一句に出会ったのが、私の川柳の始まりです。川柳のとりこになった私は、五七五のリズムで何もかも句になってしまうのがすごくおもしろくて夢中になりました。中日新聞の時事川柳にも投稿しました。それが掲載されると嬉しくて何度も投稿しました。そしてNHKの川柳に入り、色々学んでいる内に川柳の奥深さを知り、前の様には簡単に句が作れなくなりました。でも先生や句会の皆さんに出会い句会が私の楽しみになっていきました。仕事しか知らない私にとって、川柳は私の一部です。これからはコツコツと自分なりに川柳を楽しもうと思います。

【俳句の部】

また母をなじってしまい月仰ぐ

寺部幸子

(寺部さんコメント)

89才の母の世話のため1日おきに実家へ行っています。優しい態度で接しなければと頭では思っていますが、「あ～忘れた」という言葉を聞くたびにイライラして、きつい言葉を投げつけ責めてしまうことがあります。今日もまた母を詰ってしまったと月を仰いで反省する気持ちを句にしました。

<俳句を始められたきっかけ>

一年ほど前からテレビの俳句番組を見たり、新聞の投稿俳句を讀んだりしながら独学で始めました。今回の受賞はビギナーズラックです。この受賞を機に結社に入り本格的に俳句の勉強をしたいと思いました。「言いたいことをすべて言葉にせず余白を大切に」ところが「生け花」と相通じるような気がいたします。俳句を通して日常の些細なことや季節の移ろいに目を向け自分を客観視し、人生を豊かに過ごしていきたいと思っています。

【短歌の部】

終車降り立待月は煌煌と老いの歩幅を路地裏までも

鈴木愛子

(鈴木さんコメント)

渥美線高師駅の終車11時58分を降りて、タクシーが「15分お待ち下さい」とのことで歩く事になりました。心細く、月に家まで見守られて月に感謝しました。だからこそ今日という日に巡り合えたと思います。ありがとうございます。

<短歌を始められたきっかけ>

我流ながら20年位になります。心の思いをメモに寝ても起きても苦楽共に老後の生きる杖としています。これからは命の限り願っています。ありがとうございます。

秀逸作品ご紹介

【川柳の部】

明月に今日一日の苦を忘れ

間瀬はなゑ

哀しみへゆっくり慈悲の月昇る

竹内そのみ

お月さま日本は今平和です

鈴木裕子

【俳句の部】

水難碑つつむ静かき月今宵

佐藤英子

仕事終へ銀輪鳴らす良夜かな

辻村雅仁

名月や女王陛下の逝きてのち

小池保利

【短歌の部】

住み馴れしわが家の跡地均されて五十年振りの月光を浴ぶ

伊藤千代子

侵攻の半年過ぎて先見えずライ麦畑を孤月渡りぬ

篠田武子

若き母の真白き手に撫でられて眠るがごとき月夜の畑

長谷川公代



入選作品集を配布します。

今回のお月見会の入選作品集を、三の丸会館、豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場で無料配布しています。

新春文化団体交流会のお知らせ

新春文化団体交流会を3年ぶりに開催予定です。まだ安心できないというご意見もあろうかと思いますが、新型コロナウイルスにより停滞を余儀なくされた地域の文化活動を、改めて皆さまと連帯して盛り上げていく契機になればと存じます。

十分な感染症対策を実施した上で開催するとともに、開始時間を従前より1時間繰り上げ、午後4時に開始します。

ぜひ、各団体お仲間をお誘いしてご出席くださいますようお願いいたします。

日時 ● 令和5年1月27日(金) 16時～

場所 ● ホテルアークリッシュ豊橋

ガーデンサイト5階 ザ・グレイス

▶ 会費 / 8,000円(1名分)

▶ 申し込み / 各団体様宛に案内状を送付いたします。出欠をご記入のうえ、ご返送ください。

▶ 問合せ / 豊橋文化振興財団(☎0532-39-5211)



財団加盟美術団体選抜展のお知らせ

豊橋文化振興財団に加盟する写真並びに書道の団体による合同展覧会です。美術博物館改修中につき、今年度は豊橋市民文化会館で開催します。

日時 ● 第Ⅰ期 令和5年1月24日(火)～29日(日)

第Ⅱ期 令和5年1月31日(火)～2月5日(日)

いずれも9時～17時まで(最終日は16時まで)

会場 ● 豊橋市民文化会館展示室

▶ 入場料 / 無料

▶ 参加団体

第Ⅰ期: 写真 / 中日写真協会豊橋支部

書道 / 一穂会・澄心会書道・瑤玉印社・邦友会・香風書院

第Ⅱ期: 書道 / 豊橋楽書会・三河書芸会・洗心書道会・

書社かぎろひ・泥泥舎・自然の会・華友会

▶ 問合せ / 豊橋文化振興財団(☎0532-39-5211)



文化団体紹介

Vol.36

表千家清和会

お茶の心を学ぶこと、心の通い合いを伝えていきたいですね。

今回は表千家清和会さんの研究会におじゃましました。研究会は月に一度行われ、清和会の先生方が集まり親睦を深めるとともに、作法などを確認する場だそうです。「普段のお稽古でやらないこともやりますし、今まで気が付かなかったことに気付くことも多くあります。茶道は、奥が深すぎてやればやるほどわからないことが増えていきますね(笑)」と和やかな雰囲気でした。昔は花嫁修業の一環として茶道は当然のように習われていたのですが、今は着物を

着たいという方や、礼儀作法として学びたいという方も多そうです。「茶道は総合芸術ですね。掛軸、お椀、お菓子、壺飾り、茶花…あらゆる芸術が集まっています。季節によってお道具も変わりますよ。でも、だからこそ生涯かけて学ぶ価値があるし、日本の大切な文化として、いかにお茶を美味しく点てるかもそうですが、お茶を通して心と心を通い合わせるといった、「お茶の心」を伝えていきたいです」と語ってくださいました。



